

## 『WEB2.0について』

WEB2.0 という言葉を最近よく耳にしますが、どういったものなのかをご紹介します。

代表的なものとしては**ブログ**です。

今までは、ユーザは情報に関して受け手でしたが、それが発信者へと変化しており、インターネットの世界を通じて参加型モデルになってきています。

このような次世代 WEB の現象の総称をWEB2.0 と呼んでおりますが、明確に特定の技術を表すものではありません。要は、従来のインターネット(主に WEB サイト)で提供されてきたサービスを WEB1.0 等と定義し、その後の新しい技術や流行を総称して WEB2.0 としています。

これまでは、サイトを立上げることでインターネットを通じて情報発信を行っていました。これが WEB2.0 では、個人の情報を気軽に発信できる場として、ブログや SNS 等が提供され、他人の意見や情報等が容易に集めることができるようになりました。

また、企業であれば、これまで、莫大な投資をしなければ得られなかった情報も WEB2.0 により容易に情報を集めることができます。

また、広告に関してもビジネスモデルが変化しており、これまではアクセスの多いサイトへバナーを張ることで宣伝しておりましたが、WEB2.0では関連するキーワードにより個々の求める広告を検索できるようになりました。広告を探しに行くのではなく、事前に設定したキーワードの一致により探していた広告を容易に表示することが可能となり、一部のユーザにしか需要がなかったサイトも宣伝が容易になります。このような広告を「**検索連動型広告** (リスティング広告)」といい、Overture や Google、Yahoo 等が提供を行っています。

能動的な顧客を誘導できる為、確度の高い見込み客の獲得が可能となり、検索サイトに表示された広告にクリックされた際に料金が発生するので、正確に費用対効果を把握でき、また、広告予算も自由に設定できます。

有名な検索エンジン (Overture や Google、Yahoo 等) の上位に広告を掲載することができるので、他の広告に比べ費用対効果の高い広告展開が可能となります。

## WEB1.0 と WEB2.0 の具体例

WEB1.0	WEB2.0
個人 WEB サイト	ブログ
DoubleClick	Google AdSense
Britannica Online	Wikipedia
ドメイン名の投機	SEO
ページビュー	クリック単価
スクリーン・スクレイピング	Web サービス
出版モデル	参加モデル
コンテンツ管理システム	Wiki